

大野市国土強靱化地域計画（素案）に係るパブリックコメントの結果について

パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 大野市国土強靱化地域計画（素案）
 (2) 募集期間 令和2年9月30日（水）から10月14日（水）までの14日間
 (3) 意見提出状況 提出意見：3件、提出者：1人、提出方法：書面1件・電子メール0件

No.	意見の概要	回答（市の考え方）	修正箇所
1	<p>道の駅九頭竜の計画への位置づけに関すること</p> <p>（19 ページ関係）脆弱性の評価および推進方針に道の駅「越前おおの荒島の郷」に関する記述があるが、道の駅は、推進方針「①物資供給等に係る連携体制の整備」「②物資供給等に係る施設等の整備」「③非常用物資の備蓄」すべてを満たす重要な施設だと認識している。平成30年豪雪時に国道158号が封鎖され、孤立した和泉地区は物資供給で大変苦勞したが、その後、道の駅九頭竜としてコンビニを備え、物資供給等の機能を有していることから、しっかり道の駅九頭竜についても計画に位置づけ、両方の道の駅における物資供給、備蓄のあり方・役割等を考え、体制強化を図るべきではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、道の駅九頭竜は和泉地区にとって、物資供給や非常用物資の備蓄等の面で重要な施設であると考えられるため、道の駅九頭竜についても計画に位置付けることとします。</p>	あり

2	<p>重要業績指標（KPI）に関すること</p> <p>（13 ページ関係）KPI「自主防災組織の活動率」および（16 ページ関係）KPI「ハザードマップ説明会の開催」について、ともに活動のすそ野を広げていく意図は理解できるが、KPIの記載内容（回数は延べ（到達年までの累計）なのか年間なのか。回数なのか率（%）なのか。誰を対象とするものなのかなど）が分かりづらいので、分かりやすい表現にしてほしい。</p> <p>（23 ページ関係）KPI「麻しん、風しんワクチンの予防接種率」など、項目に対する KPI として関連が分かりづらいものがあることから、項目の成果を図る KPI の設定を再度検討してはどうか。</p>	<p>ご意見を参考に、KPI を分かりやすいものへと見直し、改めて設定することとします。また、被災等による医療機能の麻痺や避難所等における疫病・感染症等の発生に備えた KPI については、関連する KPI を追加することとします。</p>	あり
3	<p>ダム・流域治水に関すること</p> <p>（31 ページ関係）脆弱性の評価および推進方針にダムに関する記述があるが、ダムを有する自治体として事前放流や避難行動につながる情報の提供体制構築はとても重要だと考える。同時に、河川の流域治水という考え方も国で検討されていることから、行政区ごとの説明会や自主防災組織の強化はもちろんのこと、複数区が連携した中での説明会・訓練の実施、下流自治体との連携した訓練などを通して、「共助」を強化する取り組みを推進してほしい。</p>	<p>現在、国においても「流域治水」の取り組みを進めているところであり、いただいたご意見を参考に、取り組みを推進していきます。</p>	なし